

船舶インシデント調査報告書

令和7年3月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| インシデント種類 | 安全阻害 |
| 発生日時 | 令和6年1月7日 13時30分ごろ |
| 発生場所 | 熊本県天草市 ^{ふかみ} 深海漁港東方沖 上の島 ^{かみまて} 灯台から真方位230° 1.7海里付近 (概位 北緯32°14.7′ 東経130°07.8′) |
| インシデントの概要 | プレジャーボート ^{なりまさ} 成正丸は、運航を中止してえい航され、安全が阻害された。 |
| インシデント調査の経過 | 令和6年1月30日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート 成正丸、3.1トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 293-30339熊本、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型・特殊・特定 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | なし |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏 |
| インシデントの経過等 | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、釣りの目的で、天草市^{おおもん}大門港の係留地を出発し、深海漁港東方沖の釣り場に到着した。</p> <p>船長は、操舵装置の切換スイッチを舵輪から遠隔操縦リモコンに切り換え、同リモコンを手元に置いて操作し、潮上りをしながら釣りをを行った。</p> <p>船長は、釣りを終えて帰航することとし、操舵装置の切換スイッチを遠隔操縦リモコンから舵輪に切り換えていなかったものの、舵輪に切り換えたと思い込み、主機のクラッチを前進に入れて舵輪を左に回したところ、本船が左転しないので、クラッチを中立とした。</p> <p>船長は、舵の故障かと思い、舵輪と舵の間を往復しながら原因を探していたところ、深海漁港に帰航する漁船が様子を見に来たので、事情を説明し、原因を探すのを諦めて本船を深海漁港までえい航してもらうこととし、海上保安庁に通報を行った。</p> |
| 分析 | 本船は、深海漁港東方沖において帰航する際、船長が、操舵装置の切換スイッチを遠隔操縦から舵輪に切り換えていなかったものの、舵輪に切り換えたと思い込み、操作手順を確認しなかったことから、舵の故障かと思い、運航を中止してえい航され、安全が阻害されたものと考えられる。 |
| 原因 | 本インシデントは、本船が深海漁港東方沖において帰航する際、船 |

| | |
|--------------|--|
| | <p>長が、操舵装置の切換スイッチを遠隔操縦から舵輪に切り換えていなかったものの、舵輪に切り換えたと思い込み、操作手順を確認しなかったため、舵の故障かと思い、運航を中止してえい航されたことにより発生したものと考えられる。</p> |
| 再発防止策 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 船長は、操舵不能などのトラブルに見舞われた場合、慌てることなく、冷静にふだんからの操船手順を再確認し、所属するマリナー等に状況を説明して助言を得ること。 |